

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

目 次

■ 事業報告概要

ページ 1～4

■ 事業報告

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

No.		事業名		担当課	ページ
1	1-1	法人運営事業の推進		総務	1
2	1-2	社会福祉従事者の育成		総務	3
3	1-3	施設指定管理の受託運営	受託	総務	4

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして ネットワークを活かした活動

No.		事業名		担当課	ページ
4	2-1	地域福祉のネットワークづくり		総務	4

重点取組3 団体支援や講習会などを行ない つながりあるまちづくり

No.		事業名		担当課	ページ
5	3-1	福祉関係組織の活動支援		地域福祉	5

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

(1) ボランティア活動の推進と援助

No.		事業名		担当課	ページ
6	4-1	ボランティア活動事業		地域福祉	8

(2) 住民主体による地域福祉活動の推進

7	4-2	ふれあいサロン事業	助成	地域福祉	12
8	4-3	ほほえみネット事業		地域福祉	13
9	4-4	障がい者地域生活アシスタント事業	受託	地域福祉	13

(3) 子育て支援の推進

10	4-5	ファミリー・サポート・センター事業	受託	地域福祉	14
11	4-6	子育て支援センター一時預り・病後児預り事業	受託	地域福祉	15

(4) 地域における権利擁護の推進

12	4-7	福祉サービス利用援助事業かけはし	助成	地域福祉	16
13	4-8	成年後見事業		地域福祉	16
14	4-9	認知症カフェ		地域福祉	17
15	4-10	資金貸付事業		地域福祉	18

(5) 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

16	4-11	安心生活創造事業	受託	地域福祉	18
17	4-12	配食サービス事業	受託	地域福祉	20
18	4-13	小地域お茶の間づくり事業	助成	地域福祉	20
19	4-14	地域保健福祉事業(吉田)	受託	地域福祉	23
20	4-15	車椅子1日無料貸出		地域福祉	23

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

No.		事業名		担当課	ページ
21	5-1	介護福祉事業		介護福祉	23
22	5-2	介護保険事業(吉田事業所・本所事業所)		介護福祉1	24
23	5-3	障害者自立支援事業(吉田事業所)		介護福祉1	26
24	5-4	地域福祉事業(一般介護予防事業)	受託	介護福祉2	26
25	5-5	介護保険事業(甲田事業所)		介護福祉2	27
26	5-6	障害者自立支援事業(甲田事業所)		介護福祉2	28

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

No.		事業名		担当課	ページ
27	6-1	地域包括支援センター事業	受託	地域包括	29

平成30年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

■事業報告概要

◆はじめに

平成30年度は、市社協組織の体制強化として、2部制の最終年として、時間管理、業務管理など、ガバナンスの強化や透明性の確保への対応を行いました。

また、行政からの補助や受託事業が減ってくる中、地域の福祉課題、生活課題に応じた即応的、公益的な取組みとして、地域住民はじめ、民生委員・児童委員や福祉施設など、様々な関係機関との連携・協働をより一層強化し事業を実施しました。

さらに、「地域共生社会の実現」に向け、「福祉の開拓者として」、「地域福祉活動の推進」、「介護福祉サービスの充実」の3項目を柱に、職員による「待つ」から「出向く」アウトリーチの徹底や、各支所における相談・支援体制の強化、地域の基盤となる小地域の福祉活動「地域の場づくり」を通し、「地域や住民の力が集まるシステムづくり」に注力いたしました。

また、地域福祉課、介護保険事業所と地域包括支援センターによる連携強化によるサービスの向上を行い、役職員が一丸となり事業活動の「見える化」を行なう中で、社協会員である地域住民対し、市社協事業内容の啓発を行いました。

その中で、全世代を視野に置き、住民主体の地域課題の解決力の向上と地域支援のあり方を改めて確認しながら、第2次中期経営計画(第2次地域福祉活動計画)の策定を行い、今後の法人のあり方、事業・活動の方向性を定め、将来像を見据えながら、地域包括ケアシステムの深化・推進を担う団体として、以下の重点取組を柱に各種事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

◆平成30年度の取組

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

1 法人運営事業の推進

平成30年度は、2部制の最終年にあたり、組織管理機能のさらなる強化をめざし、時間管理と業務管理に引き続き注力しました。

業務内の目標設定による時間管理、業務管理の啓発および管理実施に努め、その結果、部長・課長級の時間外および全職員の時間外は、西日本豪雨災害の対応により微増となりましたが、通常的时间外は前年対比100.6%となり、2部制による時間管理・業務管理に一定の成果をあげました。

また、行政との人事交流の継続によるパートナーシップに努めました。

平成31年度の社会福祉大会実施に向け、関係機関や業者との交渉を行ない、準備を進めました。

2 社会福祉従事者の育成

キャリア形成促進助成金制度を有効に活用し、今年度は管理職のスキルアップを目的に管理職研修(年7回)を開催しました。また、顧問弁護士を講師に迎え、法律的な視点からの個人情報の取り扱いについて、事例を交え理解を深めました。

研修計画策定による計画的な専門研修や階級別研修等への職員参加を便宜し、また資格取得をめざす職員へ特別休暇の付与を行ないました。

また、人事考課制度の導入5年目となり、職員評価のあり方の見直しや監事による人事考課・目標設定に関する研修会の開催、専門職員登用試験を実施する等、中長期的な人材雇用と人材育成の双方を視点に業務執行を図りました。

重点取組2 福祉のまちづくりをめざしてのネットワークを活かした活動

1 地域福祉のネットワークづくり

年4回の社協だより発行やホームページにより、市民に幅広く、社協事業等の福祉関連情報を提供・紹介し、福祉活動の啓発を図りました。

また、役職員が直接足を運んでPR活動を行ない、社協会員の加入を促進しました。社協会費納入は総額4,774,250円となり、会員加入は賛助・団体を合わせ、延241会員数となりました。

重点取組3 団体支援や講習会などを行い つながりあるまちづくり

1 福祉関係組織の活動支援

日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区の事務事業、また安芸高田市共同募金委員会事務を堅実に行ないました。救急法講習の普及や災害義援金総額3,025,655円を県支部を通じて、被災地へ届けました。また、西日本豪雨災害に伴い、安芸高田市内の被災者の方へ毛布や緊急物資を届けました。地域福祉事業の財源となる共同募金運動として、街頭・イベント募金では赤い羽根募金活動を役職員が一丸となって行ないました。各町の福祉委員等のご尽力により、募金総額5,508,261円となりました。

また、共同募金配分金は、社協の地域福祉事業への充たに加え、公募・審査により、市内の住民組織6団体へ総額344,540円の助成を行ないました。

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

1 ボランティア活動の推進と援助

次世代を担う子どもたちに、ボランティアや福祉・介護の理解と実践を目的に、プチボランティアスクールの開催や、小・中学校での出前講座として、高齢者疑似体験学習を行ないました。

地域の方に、福祉・介護について学ぶ機会を提供する「出前講座」へ、職員を派遣し、地域づくりの支援を行ないました。

7月の西日本豪雨災害により、7月11日に災害ボランティアセンターを立ち上げ、8月末まで約2か月間にわたり、被災者宅の土砂撤去、家財道具の運搬等中心に支援を行いました。

広島県社会福祉協議会の要請により、10月12日から10月28日まで8名の職員を坂町、呉市の被災地へ派遣し、ボランティアセンター運営支援を行ない、被災者生活サポートボラネット推進会議を開催し、西日本豪雨災害での活動内容の報告や平常時からの対応を関係機関・団体等と改めて確認しました。

また、ボランティア派遣や交流活動、講演会を開催しました。

2 住民主体による地域福祉活動の推進

閉じこもり防止や、楽しく集える場である、ふれあいサロン事業では、新規サロン立上げの相談対応や代表者会議で「お茶の間づくり事業」の情報提供など運営のサポートを行ないました。

ほほえみネット事業では、介護保険等公的サービスのセーフティーネットとして、高齢者の家事援助など、ほほえみさんによる、身近な人の支えあい活動を推進しました。

障がい者地域生活アシスタント事業では、障がいについて理解を深めるとともに、利用者支援を行なう際の注意点や対応の仕方等を共有するため、研修会を行ないました。

3 子育て支援の推進

子育てを応援してほしい側と、応援する側のマッチング調整・支援を行ないました。交流会では、日頃の育児の悩みをお互い話しあい、そうめん流しや段ボール釜でのピザ作り等企画し、20人の参加がありました。

吉田支所内の「ふわふわ」保育室では、保護者の勤務の都合等で、一時的に保育士等による子供の預り・病後児預りを行ない、延利用数606件の子育て支援を行ないました。

4 地域における権利擁護の推進

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民等、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」を開所しました。甲田町に続き、新規に吉田町、八千代町でオープンし、延289名の参加がありました。また、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症カフェの協力員を養成しました。

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は38人、延支援回数5,254回となり、定期的な支援と、関係機関との連携により、専門的な支援を行ないました。また、生活支援員とかけはし担当者合同研修会を開催し、あらためてかけはし事業の目的と役割を確認するとともに、情報交換を行ないました。

成年後見事業では、法人受任2件、延110回の支援を行ないました。

5 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

小地域お茶の間づくり事業では、地域の方の理解と運営により、吉田町2地域、高宮町1地域で、常設型サロンを新たに設置し、市内全域設置を達成しました。延5,477人の利用があり、地域に根付いた高齢者の孤立予防や健康増進を目的とした住民の

集いの場として、また地域ボランティアによる自主的な活動の場として、地域課題を地域で解決していくための工夫や人のつながりが深まっています。

重点取組5 住み慣れた地域での安心感を支える 専門的サービスの提供

一般介護予防事業においては、地域の支え合いや担い手づくりを目的に、地域の登録支援員と一緒に取り組みを行ないました。今年度は1会場増の11会場で開催し、延参加数4,158人で、前年度より555人延参加数が増えました。

通所介護事業においては、10月より利用定員を25名から30名に増員し、居宅介護支援事業所へのチラシ配布など新規利用獲得のための広報活動を行ないましたが、利用者数の増にはいたらず、昨年度並みの実績となりました。

居宅介護支援事業においては、定期的なケース検討会を通して質の向上に努め、他職種との連携を図りながら、困難ケースの支援に積極的に取り組みました。また、社協の出前講座の講師として他機関の医療従事者（訪問看護師、薬剤師）と連携し、充実した人生にするための終活や健康増進の普及啓発に努めました。

福祉用具貸与事業においては、福祉用具の展示や細かなモニタリングを行い、レンタル、販売の商品PRを行ない、顧客獲得につなげました。また、定期ミーティング等により職員間での連携を密にし、利用者の都合に合わせた柔軟な対応を行ない、実績として、介護、予防とも利用者数が増えました。

訪問介護事業所では、特定事業所加算算定継続への取り組みや、効率的シフト運用による時間外の減を行い、収入確保に努めました。

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

地域包括支援センターは、三職種の2ユニットの稼働が増え、複合的な困難事案の支援が増加し、これまで以上に迅速、丁寧な対応と解決に努めました。

また、出前講座や総合相談、健康ミニ講座の開催、様々な行事に参加する等、気軽な相談窓口としての地域包括支援センターの周知を行ないました。

自立支援型地域ケア会議」を視野に入れた、自立支援型ケアマネジメント勉強会の開催など新たな取り組みも行いました。

介護予防事業所では、新しい総合事業の利用者が増え、市役所や関係機関と連携しながら、指定介護予防支援業務と併せて、スムーズな運営に努めました。

■ 事業報告

平成 30 年度の各事業の実施状況について、次のとおり報告いたします。

重点取組 1 社会福祉法人としての機能強化

1－1 法人運営事業の推進

(1) 諸会議の開催

社協の基本理念や基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開するにあたり、役職員が法人組織としての使命や役割について、共通した目的や認識を持ち、社協運営事業を円滑に進めるため、諸会議を開催し、会務の運営を図りました。

① 理事会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○規程の一部改正について、平成 29 年度事業報告・資金収支決算の承認について他	平成 30 年 5 月 23 日
第 2 回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算（第 2 次）について、安芸高田市社会福祉大会の開催について他	平成 30 年 12 月 6 日
第 3 回	○規程の一部改正について、平成 31 年度事業計画・資金収支決算について、第 2 次中期経営計画の策定について他	平成 31 年 2 月 26 日

② 監査：計 2 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○平成 29 年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	平成 30 年 5 月 15 日
第 2 回	○平成 30 年度上半期事業報告および経理状況等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	平成 30 年 11 月 13 日

③ 評議員会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○平成 29 年度事業報告・資金収支決算の承認について、定款施行細則の一部改正について他	平成 30 年 6 月 7 日

第 2 回	○資金収支補正予算（第 2 次）について、安芸高田市社会福祉大会の開催について	平成 30 年 12 月 13 日
第 3 回	○平成 31 年度事業計画・資金収支予算について、第 2 次中期経営計画の策定について他	平成 31 年 3 月 8 日

④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○地域共生社会の実現に向けた取り組みについて、生活支援員制度構築事業について、社協人件費等補助金について他	平成 30 年 8 月 9 日
第 2 回	○各事業協議（市行政と市社協）の進捗状況	平成 30 年 10 月 18 日
第 3 回	○平成 31 年度予算編成について	平成 30 年 11 月 19 日

⑤ 総務部会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○第 1 回理事会提出議案についての審議他	平成 30 年 5 月 17 日
第 2 回	○第 2 回理事会提出議案についての審議他	平成 30 年 11 月 21 日
第 3 回	○第 3 回理事会提出議案についての審議他	平成 31 年 2 月 19 日

⑥ 介護保険事業関係部会：計 4 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○第 1 回理事会提出議案についての審議	平成 30 年 5 月 21 日
第 2 回	○通所介護事業所における利用定員数の変更について、各事業所進捗状況等について	平成 30 年 9 月 21 日
第 3 回	○第 2 回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について	平成 30 年 11 月 29 日
第 4 回	○第 3 回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について	平成 31 年 2 月 18 日

⑦ 広報委員会：計 4 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○社協だより「第 57 号」掲載内容について	平成 30 年 4 月 5 日
第 2 回	○社協だより「第 58 号」掲載内容について	平成 30 年 7 月 2 日
第 3 回	○社協だより「第 59 号」掲載内容について	平成 30 年 9 月 6 日
第 4 回	○社協だより「第 60 号」掲載内容について	平成 30 年 11 月 26 日

⑧ 役員全員協議会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○安芸高田市被災者生活サポートボランティアセンター運営状況報告について、安芸高田市福祉大会について	平成 30 年 8 月 3 日
第 2 回	○第 2 次中期経営計画の策定について、地域福祉会議について	平成 30 年 12 月 19 日
第 3 回	○第 2 次中期経営計画の策定について	平成 31 年 1 月 23 日

⑨ 生活福祉資金貸付審査会

開催実績なし

⑩ 福祉委員説明会

開催実績なし

⑪ 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会

開催実績なし

⑫ 役員等選任委員会関係

開催実績なし

⑬ 第 2 次中期経営計画策定ワーキンググループ会議

第 2 次中期経営計画（第 2 次地域福祉活動計画）策定に係る、事務局内部会議を 8 月から 1 月の間で 10 回開催しました。

1-2 社会福祉従事者の育成

美馬市社協へ小地域生活支援ネットワークに関する取り組み状況について視察し、役職員共に今後の運営に研鑽を深めました。また、キャリアアップ助成金を積極的に活用し、職員全体の資質向上に努めました。

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○美馬市社協視察研修会 9 名	平成 30 年 7 月 3 日・4 日
	○関係機関合同研修会	平成 31 年 2 月 8 日
職員研修	○顧問弁護士研修	平成 30 年 8 月 2 日
	○職員管理職研修（年 7 回）	平成 30 年 4 月 19 日から平成 30 年 12 月 18 日まで 7 回
	○その他県社協主催事業別研修など	随時

1－3 施設指定管理の受託運営

安芸高田市から4施設の指定管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した場として運営ができるよう、設備の維持管理等を行いました。

管 理 施 設	延利用団体数	延利用者数 (人)
保健センター	284	5,856
吉田老人福祉センター	274	2,644
ふれあいセンターいきいきの里	305	3,611
ふれあいセンターこうだ	209	3,926
合 計	1,072	16,037

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして

ネットワークを活かした活動

2－1 地域福祉のネットワークづくり

(1) 社協ネットワークの構築

広報やホームページでの啓発や役職員による戸別訪問、チラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

①社協会費納入（集計金額 平成31年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,323,000	29,000	186,000	1,538,000
八千代	558,500	23,000	93,000	674,500
美土里	423,250	4,000	39,000	466,250
高 宮	542,500	4,000	57,000	603,500
甲 田	704,000	12,000	39,000	755,000
向 原	660,000	7,000	36,000	703,000
市 外		1,000	33,000	34,000
合 計	4,211,250	80,000	483,000	4,774,250

②会員加入状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）〔単位：件〕

	賛助会員	団体会員
吉 田	29	62
八千代	23	31
美土里	4	13
高 宮	4	19
甲 田	12	13
向 原	7	12
市 外	1	11
合 計	80	161

重点取組 3 団体支援や講習会などを行ない

つながりあるまちづくり

3-1 福祉関係組織の活動支援

（1）日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資金（会費）の募集を行ないました。平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨災害では、安芸高田市内の被災者の方々へ災害救援物資を届けました。また、災害に対し各義援金を取扱い、広島県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別会費	○福祉委員へ依頼通知 500 円／戸	平成 30 年 5 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日

①会費納入（集計金額 平成 31 年 3 月 31 日現在）〔単位：円〕

	一般会費	世帯数	納入世帯数	納入率
吉 田	1,225,500	3,873	2,450	63.2%
八千代	533,500	1,245	1,086	87.2%
美土里	407,100	945	811	85.8%
高 宮	539,000	1,277	1,078	84.4%
甲 田	700,900	1,692	1,396	82.5%
向 原	667,500	1,487	1,335	89.7%
合 計	4,073,500	10,519	8,156	77.5%

②災害義援金受付状況

〔単位：円〕

義援金・救援金名	受付期間	義援金
平成 28 年熊本地震災害義援金	平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	4,171
平成 29 年 7 月 5 日からの 大雨災害義援金	平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	19,852
平成 30 年大阪府北部 地震災害義援金	平成 30 年 6 月 22 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	10,235
平成 30 年 7 月広島県 豪雨災害義援金	平成 30 年 7 月 12 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	2,770,695
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	平成 30 年 7 月 10 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	154,601
平成 30 年北海道胆振東部 地震災害義援金	平成 30 年 9 月 11 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	66,101

③災害、火災等への支援協力

〔災害支援〕

災害発生日	地域	状況	件数	毛布	緊急セット	バスケット	寝衣（大）	寝衣（小）
平成 30 年 7 月 6 日 西日本豪雨災害	高宮	全壊	1	2	1	0	0	0
	向原	半壊	1	1	1	0	0	0
	甲田	床上	12	24	12	1	1	0
	向原	床上	8	13	8	0	0	0
合 計			22	40	22	1	1	0

④赤十字講習会

〔実績表〕

〔単位：回〕

AED	救急法	災害時高齢 者生活支援 講習	健康生活 支援講習会	幼児安全法	合 計
0	1	0	0	1	2

(2) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

①運営委員会：計3回

区 分	内 容	実施日
第1回	○平成29年度事業報告・決算の承認について	平成30年6月12日
第2回	○運営委員・監事・審査委員の選出区分変更について ○2019年度共同募金配分金について	平成31年1月16日
第3回	○2019年度事業計画・会計予算について ○運営委員・監事・審査委員の選任同意について	平成31年3月18日

②審査委員会：計1回

区 分	内 容	実施日
第1回	○平成30年度地域助成金事業審査について	平成30年9月6日

③募金実績（集計金額 平成31年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉 田	1,333,700	138,503	274,550	87,524	24,170	0	0	1,858,447
八千代	558,000	22,000	43,950	60,721	1,000	0	0	685,671
美土里	429,750	27,000	51,300	10,693	2,000	0	0	520,743
高 宮	541,000	60,000	75,500	45,357	3,000	0	0	724,857
甲 田	687,400	82,700	74,400	100,243	4,000	0	0	948,743
向 原	656,500	36,000	56,750	20,550	0	0	0	769,800
市 外					0	0	0	0
合 計	4,206,350	366,203	576,450	325,088	34,170	0	0	5,508,261

(3) 共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

①社会福祉協議会事業への配分

- ・ボランティア活動事業
- ・ふれあいサロン事業
- ・成年後見事業
- ・配食サービス事業
- ・小地域のお茶の間づくり事業
- ・認知症カフェ事業



②地域助成事業配分

- ・市内の地域住民で組織する6団体へ総額344,540円の助成

③共同募金委員会運営

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして

ともに支えあう地域福祉事業

4-1 ボランティア活動の推進と援助：ボランティア活動事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

(1) ボランティアの発掘・育成

①「ぷちボランティアスクール」

次世代を担う生徒たちが、自分たちの住む地域で「私のできること」を自らが考え、それを実践することで、地域や人との「結びつき」の重要性や「ボランティア」に対する理解・関心を高めるとともに、次世代の人材（ボランティア）を育成することを目的として開催しました。

期 間：平成30年7月27日～8月22日

対象者：市内の中学生・高校生

参加者：9人

内 容：ワークショップ・活動（高齢者福祉施設・保育所・災害ボランティア）・ふり返し



②「福祉・介護・出前講座」

地域の住民の集会等において、福祉及び介護に関する知識や情報を収集することを支援するため、市社協職員又は市社協が認める外部組織の講師を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。

〔実績表〕

	講座回数	受講者数
認知症	5	91
うつ病予防	0	0
薬と健康の管理	2	31
高齢者疑似体験	4	123
車いす体験	3	81
レクリエーション	9	110



転倒予防	4	89
福祉・介護制度	2	27
高齢者の生き方	7	78
終活を考える	5	119
災害支援	1	12
合 計	42	761



(2) ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページやお太助フォンを活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。

〔実績表〕

	登録者数（人）	登録団体数
吉 田	80	1
八千代	8	1
美土里	135	11
高 宮	99	7
甲 田	9	0
向 原	5	0
市 域	19	2
合 計	355	22

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・ふれあいサロン・育児ボランティア・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・配食ボランティア・朗読ボランティア・手話ボランティアなど

(3) 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

①会議開催

1) 安芸高田市ボランティア連絡協議会

〔第1回〕

日 時：平成30年6月14日 9:45～11:20

内 容：平成29年度事業報告・決算について
平成30年度事業計画・予算について
ボランティア交流活動について

出席者：5人

[第2回]

日 時：平成 30 年 9 月 21 日 16:00～17:00

内 容：ボランティア交流活動について

出席者：4 人

②交流活動

日 時：平成 30 年 10 月 28 日 9:00～12:30

内 容：旧安芸高田少年自然の家輝ら里

参加者：39 人

③ボランティア派遣

[広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会]

日 時：平成 30 年 5 月 20 日 10:00～15:30

場 所：吉田運動公園

派遣数：7 人

[平成 30 年度安芸高田市身体障害者福祉大会]

日 時：平成 30 年 12 月 2 日 9:00～14:00

場 所：田園パラッツオ

派遣数：4 人

④ボランティア講演会

日 時：平成 31 年 2 月 23 日 13:30～15:00

内 容：演題「レレレのおじさんに学ぶ
細く長くのくらしサポート」

講師 あそびの工房もくもく屋
事務局長 田川 雅規氏

参加者：63 人



(4) 災害ボランティアセンターの開設

平成 30 年 7 月 5 日～7 日の豪雨により発生した被害において、7 月 11 日から災害ボランティアセンターを設置しました。7 月 14 日から被災した住宅等において、県内外からのボランティアによる活動を行ないました。

開設期間：平成 30 年 7 月 11 日～8 月 31 日

設置場所：安芸高田市社会福祉協議会 本所内

(安芸高田市吉田町常友 1564-2 安芸高田市保健センター内)

※7/14 から 8/5 まで安芸高田市ふれあいセンターこうだ内

(安芸高田市甲田町高田原 1490-1) へ拠点と合わせて移動。

受付方法：事前受付制（電話等での事前受付）

活動時間：午前 10 時から午後 3 時

活動場所：安芸高田市内 27 件

活動内容：家屋の土砂撤去作業、畳や家財等の搬出、ゴミ集積場へ搬入等
センター内でのボランティア受付、各種帳票入力、調査内容
確認、運営補助等

支援活動日数：延 21 日間（ボランティアが入った日数）
 支援活動者数：延 308 人（内 市内 延 182 人、市外 延 126 人）
 現地調査・訪問等調査件数：119 件
 支援物資等受入件数：27 件

○ボランティア保険加入者数

今回の災害の大規模災害指定により、市外の方についても、現地での加入受付を行ないました。

	加入者数
吉 田	28
八千代	9
美土里	4
高 宮	3
甲 田	39
向 原	27
市 外	77
合 計	187



○他市町社協への職員派遣

広島県社会福祉協議会からの要請により、被災地へ職員を派遣し、ボランティアセンターの運営支援を行ないました。

日 時：平成 30 年 10 月 12 日（金）～平成 30 年 10 月 28 日（日）
 場 所：坂町（小屋浦）、呉（安浦）
 職 員：8 名

（５）被災者生活サポートボラネット推進事業

いざという時の「共助」を培うために、平常時も被災者生活サポートボラネットを常設させ、関係機関・団体等と災害時における対応について改めて確認しました。

構成団体：19 団体

①会議開催

被災者生活サポートボラネット推進会議

日 時：平成 31 年 11 月 22 日（木）10：00～11：30

場 所：安芸高田市保健センター 第 1 研修室

内 容：被災者生活サポートボラネットについて

7 月広島県豪雨災害報告について

被災者生活サポートボラネット推進マニュアルについて

出席者：20 人



4-2～4-4 住民主体による地域福祉活動の推進

4-2 地域福祉活動の推進：ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくりとしてふれあいサロンを推進し、各サロンへの活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営についての相談、ふれあいサロン代表者会議での情報提供等を行ないました。



〔活動実績表〕

	サロン数（うち新規数）	開催数	延利用者数
吉 田	8	83	1,036
八千代	16	150	1,758
美土里	18(2)	144	2,050
高 宮	11	80	981
甲 田	28(3)	299	3,397
向 原	18	170	2,990
合 計	99(5)	926	12,212

(1) サロン代表者会議

	開催数	延出席者数
吉 田	4	23
八千代	4	54
美土里	4	33
高 宮	2	11
甲 田	3	57
向 原	3	27
合 計	20	205

(2) サロン代表者説明会

日 時：平成 31 年 3 月 25 日 10：00～11：15（甲田町）
 内 容：平成 31 年度ふれあいサロン事業変更部分について
 実績報告書・事業計画申請書について
 地域包括支援センターより情報提供
 参加者：21 人

4-3 地域福祉活動の推進：ほほえみネット事業

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数：315 件

協力員数：114 人

〔活動内容〕

内 容	活動件数
家事援助（掃除・調理等）	170
見守り・話し相手	53
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	56
買い物	15
薬の受取り	2
散歩の付き添い・犬の散歩	4
その他	15
合 計	315

4-4 地域福祉活動の推進：障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に関する相談対応等行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	1	0	0	0	0	0	1
延支援回数	10	0	0	0	0	0	10
生活協力員	7	6	1	2	2	1	19

(1) 研修会

障がい者地域生活アシスタント事業について、理解を深めるとともに、利用者への支援を行なう際の注意点や対応の仕方等を共有するため、研修会を行ないました。

〔研修会〕

日 時：平成 31 年 1 月 30 日 13：30～15：15

内 容：障がい者アシスタント事業について
利用者への関り方



講 師：安芸高田市障害者基幹相談支援
センター 橋本満寿美氏
参加者：16 名

4－5～4－6 子育て支援の推進

4－5 子育て支援の推進：ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

支援件数：184 件
提供会員：51 人
依頼会員：51 人
両方会員：5 人



〔支援内容〕

内 容	支援件数（件）
学童保育・学校の送迎	86
学童保育の開始前や終了後の預かり	64
保育施設までの送迎	20
保育施設の開始前や終了後の預かり	11
他の子どもの学校行事の場合の預かり	2
保護者等の短時間・臨時就労の預かり	1
合 計	184

（１）交流会

会員さん同士交流しながら顔見知りになることで、スムーズな支援につなげることと、育児や生活上の悩みなどお互いに話す機会を持ちました。

「第 25 回ファミサポ交流会」

日 時：平成 30 年 9 月 22 日 10：30～14：00

内 容：段ボール釜でピザ作り、そうめん流し、
アンケート

参加者：提供会員 4 人、依頼・一時預り・病後児預り会員 6 人、
子ども 9 人、他大人 1 人 計 20 人

(2) 合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り・病後児預り会員合同での研修会を開き、ポリ袋のできる非常食の調理実習と試食会、午後から日本赤十字社広島県支部広島県安全赤十字奉仕団の赤十字幼児安全指導員の方に、子どもに起こりやすい事故の話や異物除去法、心肺蘇生、AED の使い方を学びました。

「ファミリー・サポート・センター事業
一時預り・病後児預り事業合同研修会」

日 時：平成 30 年 11 月 23 日 10：30～15：30

内 容：非常食調理実習、試食会、幼児安全法と心肺蘇生法、
AED の使い方

参加者：一時預り・病後児預り会員 3 人、その他 4 人、子ども 5 人
計 12 人

4－6 子育て支援の推進：子育て支援センター一時預り・病後児預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など
急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内
の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預り、
保育を行ないました。

支援件数：606 件

会員数：169 件



〔利用理由〕

内 容	利用件数
保護者の勤務の都合	185
私用	161
保護者の通院・体調不良	136
兄弟姉妹の行事の参加	41
講習会・習いごと	27
家族の通院・健診等	18
就職活動	18
美容院	8
冠婚葬祭・お見舞い	6
引っ越し準備	3
リフレッシュ	2
買い物	1
合 計	606

4－7～4－10 地域における権利擁護の推進

4－7 地域における権利擁護の推進：福祉サービス利用援助事業かけはし

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
登録者数	19	2	7	1	2	7	38
延支援回数	2,827	271	711	90	238	1,117	5,254
生活支援員	5	2	3	2	3	1	16

(1) 生活支援員・かけはし担当者合同研修会

あらためてかけはし事業の目的と役割を確認し、さらなる連携を図るため、生活支援員とかけはし担当者の合同研修会を開催しました。

〔生活支援員・かけはし担当者合同研修会〕

日 時：平成 31 年 3 月 13 日 13：30～15：00

内 容：事業説明

生活支援員、専門員との支援の流れ
情報交換

参加者：14 名



4－8 地域における権利擁護の推進：成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

〔実績表〕

	後 見	保 佐	補 助	合 計
受任件数	2	0	0	2
延支援回数	110	0	0	110

4－9 地域における権利擁護の推進：認知症カフェ

(1) 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について関心のある方など、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として開催しました。昨年8月にオープンした甲田町に加え、10月には吉田町、八千代町で新規開設しました。

また、ボランティアで運営されている認知症カフェの活動内容等を参考にするため、視察を行ないました。さらに、協力員を募集し、認知症サポーター養成講座を開催することにより、協力員を養成し、参加者の支援を行ないました。

実施地域：甲田町

開催日：毎月第3木曜日 9：30～11：30

場 所：ふれあいセンターこうだ

内 容：カフェ、相談対応、物忘れ相談プログラム等



実施地域：吉田町

開催日：毎月第3水曜日 9：30～11：30

場 所：ふれあいセンターいきいきの里

内 容：カフェ、相談対応、物忘れ相談プログラム等

実施地域：八千代町

開催日：毎月第3金曜日 9：30～11：30

場 所：八千代文化施設フォルテ

内 容：カフェ、相談対応、物忘れ相談プログラム等

[実績表]

実施地域	延参加者数（人）	相談対応件数	物忘れ相談 プログラム件数
甲田町	111	0	3
吉田町	77	1	2
八千代町	101	0	5
合計	289	1	10

認知症カフェ視察

- ・日 時 平成 30 年 9 月 7 日（金） 10：15～11：45
- ・場 所 安芸郡府中町社会福祉協議会 認知症カフェ「だんだん」
- ・参加者 職員 5 名

認知症サポーター養成講座

- ・日 時 平成 30 年 9 月 21 日（金） 13：30～15：00
- ・受講者 協力員 7 名

4－10 地域における権利擁護の推進：資金貸付事業

資 金 名	平成 29 年度	平成 30 年度		
	年度末件数	新規貸付 件数	償還件数	償還免除 件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	3	1	0	1
(2) 緊急小口資金	4	2	1	0

4－11～4－15 身近な地域での住民のつながり

支えあい活動の推進

4－11 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。また、民生委員児童委員協議会等の関係機関とも連携し、支援対象者の把握も行ないました。



(1) 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての利用申請手続きも行ないました。

〔実績表〕

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	16	83	507	0	2
八千代	14	43	567	8	12
美土里	26	44	736	37	7
高 宮	10	56	443	0	1
甲 田	18	72	649	11	3
向 原	5	29	494	0	7
合 計	89	327	3396	56	32

(2) 地域の見守り体制

地域で安心して生活できるよう、配達時などに声かけや安否確認を行う、お太助協力店として、登録、活動していただきました。

〔お太助協力店登録数〕

吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
21	6	3	9	9	6	54

(3) 関係機関との連携

民生委員・児童委員や行政、地域住民との連携を図りながら、支援が必要な方の発掘を行ないました。また、地域における課題等を情報共有するための協議会を開催しました。

日 時：平成 30 年 8 月 17 日 10：00～12：00（高宮町）
 平成 30 年 8 月 22 日 13：30～14：30（八千代町）
 平成 30 年 9 月 18 日 13：30～14：30（甲田町）
 平成 30 年 9 月 19 日 11：00～12：00（吉田町）
 平成 30 年 9 月 20 日 13：30～14：30（美土里町）
 平成 30 年 9 月 25 日 13：30～14：30（向原町）

参加者：162 人

(4) 支援体制調整会議

登録訪問員へ実績報告、ポイント転換の説明を行い、行政から生活支援員制度の進捗状況、地域包括支援センターからセンターの紹介を行いました。また、地域における必要な方の発掘を行い、必要な支援へとつなげました。

日 時：平成 31 年 2 月 12 日 10：30～11：10（美土里町）
 平成 31 年 2 月 12 日 13：30～14：10（高宮町）
 平成 31 年 2 月 13 日 10：30～11：10（八千代町）
 平成 31 年 2 月 13 日 13：30～14：10（吉田町）
 平成 31 年 2 月 14 日 10：30～11：10（向原町）
 平成 31 年 2 月 14 日 13：30～14：10（甲田町）

参加者：88 人

4－12 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせて安否確認や体調の変化の察知を行ない、次に繋がるよう推進しました。



〔実績表〕

	八千代	高 宮	甲 田	合 計
登録者数	16	38	37	91
配食回数	100	49	49	198
配 食 数	240	765	280	1,285

4－13 小地域お茶の間づくり事業

常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、新たに 3 地域で常設型のサロンを開所し、市内全域設置を達成しました。 また、代表者会議を開催し、各サロンの活動紹介や課題等について意見交換を行ないました。

実施地域：美土里町横田地区(継続)

1) くつろぎハウス運営

開所日：毎週月曜日・水曜日・金曜日

時 間：9：30～15：30

場 所：美土里高齢者コミュニティセンター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
151	2,593

実施地域：甲田町小田東地域（継続）

1) 小田東ひだまりサロン運営

開所日：毎月第2・4金曜日

時 間：10：00～14：30

場 所：ふれあいセンターこうだ

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
21	1,100

実施地域：八千代町佐々井地域（継続）

1) えがおサロンやちよ運営

開所日：毎月第1・3月曜日

時 間：9：30～11：30

場 所：八千代人権福祉センター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
22	614

実施地域：向原町保垣地域（継続）

1) たかのすカフェ運営

開所日：毎月第1・3火曜日

時 間：13：30～15：30

場 所：向原町保垣地区生活改善センター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
23	578

実施地域：吉田町吉田地区（新規）

1) 地域関係者との協議

開催数：1回

内 容：事業概要説明

運営協議会の設立についてなど

出席者：7人

2) 協力員との協議

・運営協議会

開催数：9回

内 容：運営要綱について、募集について

廿日市市大野町「おしゃべりサロン楽々」視察

開所に向けての協議 など

出席者：延べ84人

3) りあん吉田開所

開 所：平成 30 年 9 月 26 日

開所日：毎月第 1・3 水曜日

時 間：13：30～15：00

場 所：ふれあいセンターいきいきの里

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
12	351

実施地域：高宮町佐々部地区（新規）

1) 地域関係者との協議

開催数：2 回

内 容：事業概要説明、開設場所についてなど

出席者：24 人

2) 協力員等との協議

開催数：3 回

内 容：事業説明、運営要綱について、
開所に向けての協議 など

出席者：延べ 34 人

3) なかよしカフェ開所

開 所：平成 31 年 1 月 9 日

開所日：毎月第 2・4 水曜日

時 間：10：00～12：00

場 所：安芸高田市役所高宮支所

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
5	90

実施地域：吉田町可愛地区（新規）

1) 地域関係者との協議

開催数：1 回

内 容：事業概要説明

運営協議会の設立についてなど

出席者：10 人

2) 小山サロンやまびこ開所

開 所：平成 31 年 1 月 24 日

開所日：毎月第 2 木曜日、第 3 土曜日

時 間：13：30～16：00

場 所：小山会館

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
5	121

代表者会議

日 時：平成 30 年 11 月 1 日 13：30～16：00

内 容：お茶の間サロンにおける課題について等の意見交換

出席者：13 人

4－14 地域保健福祉事業（吉田）

要介護者等の認定を受けていない市内の高齢者が地域住民と触れ合うことで、閉じこもり防止や高齢者の保健および福祉の向上を図ることを行ないました。

登録者数：295 人

〔実績表〕

開催数(回)	延利用者数(人)
71	1,233

4－15 車椅子 1 日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的（1 日間）に必要とされる方へ無料で貸出を行なうことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	7	1	4	5	3	3	23

重点取組 5 住み慣れた地域での安心生活を支える

専門的サービスの提供

国の動向から今後の方策として、多様な担い手による生活支援、運動・通いの場の提供、見守り等の体制づくりが必要とされています。平成 30 年度は専門性を活かし、他機関との連携を強化し協働で困難なケースの支援を行なうとともに、社協の事業所として地域へ出向き住民への啓発活動も行ないました。

5－1 介護福祉事業

（1）育児支援家庭訪問事業（受託）

育児支援が必要と認められる世帯に対し、訪問介護員が、家事等の支援を行ないます。今年度、市からの要請依頼はありませんでした。

(2) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	11	0.9	18,000

5-2 介護保険事業：吉田事業所・本所事業所

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、利用者の有する能力に応じ自立した日常生活が出来るよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	484	40	29,398,260

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	217	18	3,973,244

(2) 居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成等を行ないました。質の高いマネジメントを実施するため、事業内での情報共有や研修機会を確保しスキルの向上を図るとともに、支援困難ケースへの積極的な対応を行いました。地域支援活動を他機関の専門職と合同で推進し、健康増進や終活への啓発活動に取り組みました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	2,475	206	36,631,710

2) 介護予防・総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	318	26	1,410,300

3) 要介護認定調査

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	82	6	264,600

4) 困難事例対応

〔実績表〕

	困難事例受入数(人)	地域ケア会議出席数(回)
平成 30 年度	6	2

5) 地域支援活動（町別）

〔実績表〕

	支援活動数（回）	延支援活動数（人）
吉 田	5	6
八千代	2	2
美土里	0	0
高 宮	3	3
甲 田	9	12
向 原	4	4
合 計	23	27

（3）福祉用具貸与事業

心身の状況、生活環境を踏まえた適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ない、福祉用具の貸出や販売を通して、日常生活での自立支援や介護負担の軽減に努めました。定期ミーティングにより内部での情報共有を密にし、細かなモニタリングを実施するとともに、利用者の都合に合わせ柔軟な対応を行ないました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	2,792	232	36,892,570

2) 介護予防

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	1,459	121	11,275,240

3) 自費レンタル事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	233	19	670,350

(4) 福祉用具販売事業

全体（介護保険・介護予防・介護保険対象外等）

〔実績表〕

	延利用件数(件)	月平均利用件数(件)	収入額(円)
平成 30 年度	143	11	2,734,043

5-3 障害者自立支援事業：吉田事業所

住み慣れた地域で、安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

(1) 障害サービス：居宅介護

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	182	15	14,364,320

(2) 地域生活支援：移動支援

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	2	0.1	8,950

5-4 地域福祉事業

(1) 一般介護予防事業（げんき教室）

地域の集会所を拠点に、高齢者がいつまでも元気でいきいきと生活していけるよう、介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、教室ごとに地域性や参加者の身体的状況を考慮し、創意工夫を凝らしたメニューにより、生活機能の維持・向上に向けた取り組みを行ないました。

- ①内 容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防 など
- ②対象者：65 歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けていてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サービスを利用していない方
- ③開催日：月 4 回
- ④場 所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里
丹比生活改善センター・丹比西集会所
ふれあいセンターこうだ・山田集会所
高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所
北原集会所・前田会館

〔実績表〕

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
吉田	吉田老人福祉センター	14	46	430
	ふれあいセンターいきいきの里	17	47	559
	丹比生活改善センター	16	46	559
	丹比西集会所	21	47	515
甲田	ふれあいセンターこうだ	18	42	541
	山田集会所	8	42	224
	高地ふれあい集会所	9	47	244
	長屋集会所	11	45	269
	火の谷集会所	7	45	268
八千代	北原集会所	9	46	316
	前田会館	10	31	233
合 計		140	484	4, 158

5－5 介護保険事業：甲田事業所

（１）訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

１）介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	482	40	26, 375, 490

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	205	17	3,710,330

(2) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮してもらえるよう、能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューをおこない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	598	49	47,364,610

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	197	16	6,139,510

5-6 障害者自立支援事業：甲田事業所

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

1) 障害サービス：居宅介護

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 30 年度	32	2	941,050

2) 地域生活支援：移動支援

実績なし

重点取組 6 地域の身近な相談窓口として

ネットワークを活かした活動

6-1 地域包括支援センター事業

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	件数
本人	49
家族	179
市役所	49
介護サービス事業所	132
病院・薬局	41
障害者基幹相談支援センター	1
社協	56
民生委員	35
福祉委員	0
近所	7
知人	1
事業者等	0
警察署	1
他市町	4
その他	17
合 計	572

相談内容	件数
在宅介護	52
公的福祉サービス	19
介護保険	384
認知症	27
福祉用具	10
住宅改修	2
公的サービス以外の社会資源	2
高齢者虐待	5
成年後見	4
消費者被害	1
アルコール依存等	4
行方不明	0
精神・健康問題	13
生活困窮	5
その他	44
合 計	572

相談方法	件数
電話	401
来所	144
訪問	15
外出先で相談を受けた	10
その他（会議等）	2
合 計	572

(2) 権利擁護業務

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

消費者被害、成年後見制度の相談に応じ、情報提供や啓発を行ないました。

○高齢者の虐待状況等

項 目	件 数	備考
1) 相談・通報受理件数	3	
2) 相談・通報者		
虐待者		
家族・親族	1	
民生委員		
介護支援専門員等	2	
本人		
警察		
行政職員		
病院		
近隣 市民		
3) 事実確認調査の結果		
虐待と判断	0	
虐待ではないと判断	1	
虐待の判断に至らなかった	2	
経過観察・事実確認中等		
4) 終結	3	

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。

また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。



内 容	回数
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会	12 回 (月 1 回)
地域ケア会議	8 回
小規模多機能運営協議会	25 回 (9 ヶ所)

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

①指定介護予防支援業務

		延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	収入額(円)
平成 30 年度	直営分	2,302	191	10,227,400
	委託分	1,170	97	4,978,600
	小 計	3,472	288	15,206,000

②介護予防ケアマネジメント

		延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	収入額(円)
平成 30 年度	直営分	1,041	86	4,584,300
	委託分	785	65	3,432,500
	小 計	1,826	151	8,016,800

③認定調査

	延調査件数(人)	月平均調査件数 (人)	収入額(円)
平成 30 年度	80	6	259,200

(5) 市との連携

様々な会議に参加し、常に市役所や関係機関等と情報共有や連携を図りました。

また、出前講座や多職種連携研修等で地域住民と関わりを持ち、関係作りに努めました。

①会議関係

内 容	回数
市との定例会議	12 回
在宅死検討委員会	3 回
安芸高田市虐待防止ネットワーク会議	1 回
在宅医療・介護連携推進会議	3 回
在宅医療・介護連携会議地域課題部会	7 回
地域包括ケア推進会議	1 回
地域包括支援センター運営推進協議会	1 回
障害者自立支援協議会	8 回

②研修会・講演会

- ・多職種・連携研修会 3回
- ・市民公開講座 3回
- ・青空の会 4回

（６）出前講座・総合相談・健康ミニ講座

出前講座や社協支所において総合相談・健康ミニ講座を行い、地域包括支援センターの周知を図ると共に、様々な相談対応や健康についての啓発を行いました。

①出前講座

回数：計 17 回

対象：市民ふれあいサロン・老人クラブ 17 会場

内容：認知症予防・地域包括支援センターの役割

参加者：計 249 名

②総合相談

○相談内容：高血圧の健康管理・地域活動について・認知症予防について等

会場：6 会場

回数：72 回

参加者：106 人（延べ）

③健康ミニ講座

○講座内容：認知症予防・うつや心の健康・高齢者の食事等

会場：6 会場

回数：72 回

参加者：421 人（延べ）



（７）研修会・講演会

- ・地域包括・在宅介護支援センター協議会研修会 6回
- ・高齢者虐待対応研修会 4回
- ・自立支援型マネジメント研修会 3回
- ・地域包括支援センター職員研修 2回
- ・認知症研修会 2回
- ・芸北自殺未遂者支援対策研修会 1回
- ・クレーム・苦情処理研修会 1回
- ・その他 23回

(8) 自立支援型ケアマネジメント勉強会

自立支援の理念を計画作成者、サービス提供事業者、行政、利用者、家族、地域住民全員が共有するとともに、自立支援に向けた目標設定、生活支援サービスの整備・充実等、高齢者を取り巻く環境の整備をまちづくりの視点で行っていき、地域包括システム推進の一つの手法として、「自立支援型地域ケア会議」を視野に入れ、前段階として勉強会を開催しました。

	研修内容	参加者
第1回 平成30年6月14日	事例検討 提供：包括	24人
第2回 平成30年9月13日	事例検討 提供：社協居宅	30人
第3回 平成30年12月13日	事例検討 提供：JA広島北部居宅	31人
第4回 平成31年3月14日	事例検討 提供：かがやき居宅	29人

(9) 「高齢者の生き方」シンポジウム

長寿化した現代で、年を重ねても元気で自立した生活を送るためのヒントをお伝えし、自分の意志を発信できなくなった際等のもしもの時の備えについての情報を提供することで、良い老い方について学んで頂けるよう開催しました。

日 時：平成31年2月15日 13：30～15：00

内 容：「老いても自立『幸せな生き方』について考えてみませんか？」

①演題：「元気で楽しい高齢者の生き方について」

講師：安芸高田市高宮地区民生委員児童委員協議会

会長 中田 實男氏

②演題：「自分の権利を護れますか？」

講師：平岡社会福祉事務所

社会福祉士 平岡 和子氏

③演題：「誰にも訪れる『死』について考える」

講師：安芸高田市医師会

事務局長 近村 美由紀氏

参加者：180

